

先行3セク会社の概要

※輸送密度はR元年度実績
 ※運行本数は令和3.3ダイヤ
 ※運行本数は上下合計

I R いしかわ鉄道

石川県、H27.3.14開業

経営区間：金沢～倶利伽羅
 営業距離：18km
 駅数：5駅
 輸送密度：約15,000人/日



運行本数
 旅客 開業前109本⇒117本/日
 うち快速5本
 貨物 33本/日

運賃水準 (H25.3経営計画策定時)
 (JR比) 開業後5年間 開業後6～11年目
 普通 1.14倍 ⇒ 1.19倍
 通学定期 1.00倍 ⇒ 1.05倍
 通勤定期 1.14倍 ⇒ 1.19倍

えちごトキめき鉄道

新潟県、H27.3.14開業

経営区間：市振～妙高高原
 営業距離：97km
 駅数：22駅(うち新駅1)
 輸送密度：日本海ひすいライン：約1,400人/日
 ※開業時予測 妙高はねうまライン：約2,800人/日



運行本数
 ひすいライン
 旅客 開業前39本⇒46本/日
 貨物 25本/日
 はねうまライン
 旅客 開業前45本⇒54本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.33倍
 通学定期 1.15倍
 通勤定期 1.33倍

I G R いわて銀河鉄道

岩手県、H14.12.1開業

経営区間：盛岡～目時
 営業距離：82km
 駅数：17駅(うち新駅2)
 輸送密度：約2,700人/日



運行本数
 旅客 開業前61本⇒80本/日
 貨物 46本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.61倍
 通学定期 1.63倍
 通勤定期 1.71倍

道南いさびり鉄道

北海道、H28.3.26開業

経営区間：五稜郭～木古内
 営業距離：38km
 駅数：12駅
 輸送密度：約600人/日
 ※開業時予測



運行本数
 旅客 開業前37本⇒36本/日
 貨物 51本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.07倍
 通学定期 1.09倍
 通勤定期 1.09倍

あいの風とやま鉄道

富山県、H27.3.14開業

経営区間：倶利伽羅～市振
 営業距離：100km
 駅数：20駅(うち新駅1)
 輸送密度：約7,700人/日



運行本数
 旅客 開業前127本⇒150本/日
 うち快速5本
 貨物 35本/日

運賃水準 (H25.3経営計画策定時)
 (JR比) 開業後5年間 開業後6～11年目
 普通 1.12倍 ⇒ 1.19倍
 通学定期 1.03倍 ⇒ 1.05倍
 通勤定期 1.12倍 ⇒ 1.19倍

しなの鉄道

長野県、H 9.10.1開業(しなの鉄道線)
 H27.3.14開業(北しなの線)

経営区間：軽井沢～篠ノ井(しなの鉄道線)
 長野～妙高高原(北しなの線)
 営業距離：102km
 駅数：27駅(うち新駅4)
 輸送密度：しなの鉄道線：約6,600人/日
 北しなの線：約3,300人/日



運行本数
 しなの鉄道
 旅客 開業前69本⇒117本/日
 うち快速10本
 貨物 6本/日
 北しなの線
 旅客 開業前75本⇒78本/日
 貨物 4本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.24倍
 通学定期 1.61倍
 通勤定期 1.49倍

青い森鉄道

青森県、H14.12.1開業(目時～八戸)
 H22.12.4開業(八戸～青森)

経営区間：目時～青森
 営業距離：122km
 駅数：27駅(うち新駅1)
 輸送密度：約2,200人/日



運行本数
 旅客 開業前45本⇒93本/日
 うち快速6本
 貨物 60本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.37倍
 通学定期 1.00倍
 通勤定期 1.65倍

肥薩おれんじ鉄道

熊本県・鹿児島県、H16.3.13開業

経営区間：八代～川内
 営業距離：117km
 駅数：28駅(うち新駅1)
 輸送密度：約670人/日



運行本数
 旅客 開業前67本⇒53本/日
 貨物 10本/日

運賃水準 (JR比)
 普通 1.28倍
 通学定期 1.27倍
 通勤定期 1.29倍

福井県並行在来線利用促進協議会

令和4年春頃に、並行在来線会社、県、沿線市町、関係団体等で構成する 福井県並行在来線利用促進協議会(仮称)の設置を予定しています。

通勤・通学等の日常生活での利用促進に加え、県外からの観光客やビジネス客等の利用促進を図るとともに、在来線駅を中心とした賑わいの創出などの地域づくりを、関係機関等が一体となって取組み、並行在来線の経営の安定と地域の発展に寄与していきます。

経営主体となる新しい鉄道会社

JRからの経営分離後も並行在来線を地域で運営していくため、令和元年8月、県・市町・民間企業の出資を受けて、福井県並行在来線準備株式会社が設立されました。

会社の概要

名称 福井県並行在来線準備株式会社(令和4年7月頃に正式社名へ変更予定)
 設立日 令和元年8月13日
 所在地 福井市
 資本金 5億円(令和4年7月頃に増資予定)
 県や市町、民間が出資(第三セクター会社)
 社員数 約280人(開業時の予定)

◆詳しい情報は、会社のホームページをご覧ください。

HP: <https://www.fukui-heizai.co.jp/>

QRコードはこちら



これまでの並行在来線のあゆみ、今後のスケジュール

- H25～ 関連調査(北陸本線の現況、旅客流動、将来需要予測、収支予測など)
- H30.8 経営・運行に関する基本方針の決定(経営形態、運行形態、組織など)
- R1.8 福井県並行在来線準備株式会社を設立
- R3.10 福井県並行在来線経営計画を決定
- R4.1 鉄道事業許可(鉄道事業再構築実施計画の申請・認定)
- R4.7頃 準備会社から本格会社へ移行(増資、正式社名に変更)
- R5.冬頃 開業時の運賃・ダイヤを公表
- R6.3頃 並行在来線開業

福井県地域戦略部並行在来線課

R4.1作成

並行在来線の開業に向けて



521系(写真提供:JR西日本金沢支社)

県民に親しまれる「県民鉄道」に生まれ変わります!

ここが変わる!!

増便や新たに快速列車を運行し、誰もが利用しやすいダイヤ編成にします!

駅舎を、使いやすく、楽しく、「行ってみたいくなる駅」にモデルチェンジします!

沿線市町や地域鉄道と連携したイベントを実施します!

福井県

並行在来線とは

開業する新幹線と並行し、特急列車が新幹線へ移行する在来線を指します。

並行在来線に該当する区間はJRから経営が分離され、地域の第三セクター会社等によって運営されます。



サンダーバード・しらさぎ等



北陸新幹線

県内区間の現状 (普通列車のみ)

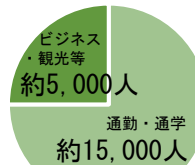
運行本数 (R3.3ダイヤ)

旅客：102本/日 貨物：33本/日

旅客実績 (R元年度)

乗車人員：約20,000人/日

輸送密度：約5,600人/日・km



貨物実績 (R2年度)

通貨トン数：約240万トン/年

※全国輸送量の9%相当

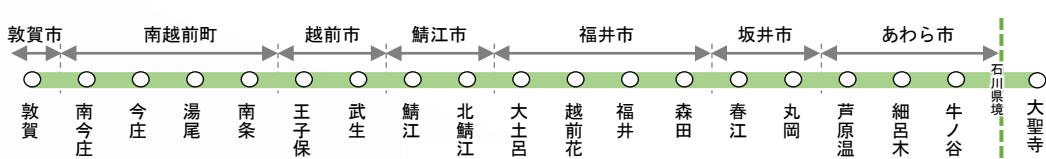
使用車両

形式：521系

定員：約250人 (座席数88)

※2両編成時

営業区間 敦賀～大聖寺駅間 84.3km、18駅 (大聖寺駅除く)



北陸新幹線の並行在来線区間

北陸新幹線福井・敦賀開業時に経営分離される区間



経営計画の概要

令和3年10月、並行在来線の経営指針となる「経営計画」が県、市町、経済団体、利用者団体等で構成する「福井県並行在来線対策協議会」において決定されました。

今後は、この経営計画に基づき、第三セクター会社において具体的な開業準備を進め、令和6年春には、県民に親しまれ、利便性の高いサービスを提供する地域に密着した県民鉄道として運行をスタートします。

運営組織、資本金

- 開業時要員数：約280人 (自社員100人、JR出向170人、県派遣等10人) ※開業10年後を目途に、JR出向を解消します。
- 資本金：26.2億円

県、全市町、民間企業、鉄道・運輸機構が出資します。

運賃水準

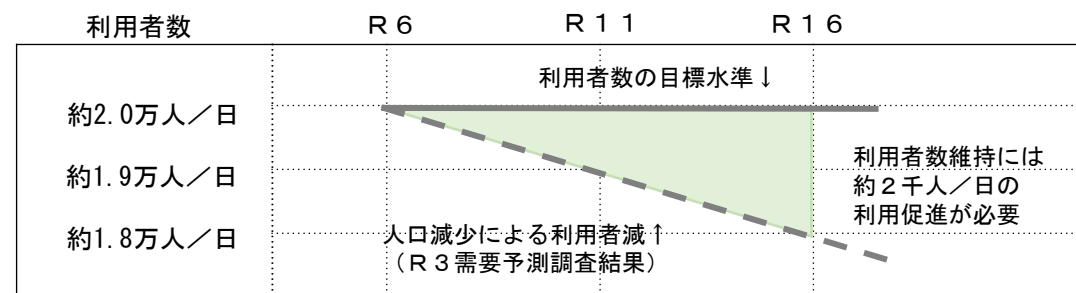
- 概ね近隣県並みの運賃水準にします。(記載倍率はいずれも対JR運賃比)

券種	福井県		参考：近隣県の水準			
	1～5年目 (激変緩和)	6～11年目	石川県		富山県	
普通	1.15倍程度	1.20倍程度	1.14倍	1.19倍	1.12倍	1.19倍
通学定期	1.05倍程度	1.05倍程度	1.00倍	1.05倍	1.03倍	1.05倍
通勤定期	1.15倍程度	1.20倍程度	1.14倍	1.19倍	1.12倍	1.19倍

※ともに6年目以降の値上げを見送る中

利用者数の目標

- 1日の利用者目標を2万人とします。
- 利用者数を開業年度から11年間 (令和6年～令和16年度) 維持します。



経営安定化策

- 本県会社の経営を支えるとともに、運賃値上げ抑制のため、収支不足を補う財源として県に「福井県並行在来線経営安定基金 (仮称)」を設置します。
- 基金総額：70億円 (県35億円、沿線市町35億円)
- 計画期間：令和6年度～令和16年度

具体的な利用促進策

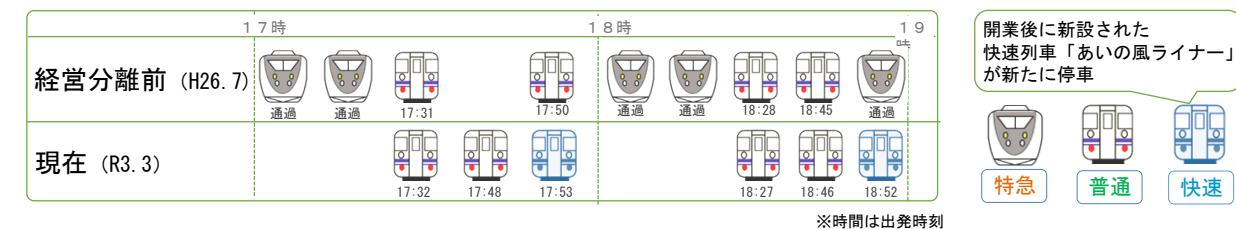
並行在来線が将来にわたり安定した経営を維持するため、また、地域に密着した県民鉄道として魅力あふれる鉄道づくりを進めるため、市町、地域と連携しながら、鉄道利用を促す様々な取組みを実施します。

(1) 利便性の向上

- 増便、快速列車の運行等



参考：あいの風とやま鉄道 小杉駅 (富山方面) …開業後に停車本数が4本から6本に増加



- 観光・イベント列車の運行
- 新駅の設置 (福井・森田駅間、武生・鯖江駅間、王子保・武生駅間に設置を検討)



観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」
えちごトキめき鉄道



新駅：奥子駅 (岩手県盛岡市)
IRGいわて銀河鉄道

(2) 駅を中心としたまちづくり

- 駅・駅周辺の賑わいづくり (イベント実施や周辺観光案内 など)
- 駅を中心とした都市機能の集約や居住誘導
- 既存駅のモデルチェンジ (駅舎内空きスペースの活用 など)



学生向け自習室
えちごトキめき鉄道 直江津駅

(3) 交通事業者との連携

- 地域鉄道等との連携 (共通フリー切符や企画切符の発行、イベントの共同開催 など)
- 交通事業者等との連携 (バス会社、JR、IR Iishikawa Railwayと連携した広域的な取組み など)

(4) 地域に親しまれる鉄道への転換

- 会社名の公募、県民の参画 (キャラクター・ロゴマーク公募、駅舎活用 など)
- マイルール意識の醸成 (地域による駅周辺の環境美化、名誉駅長の委嘱 など)
- サポーターズクラブ、福井県並行在来線利用促進協議会 (仮称) の設置